

相武台神社で元旦祭を行いました

令和4年1月1日(土)相武台神社境内にて、新たな良き年を祈願する元旦祭の神事が執り行われました。

早朝から鳥居前に列をなす初詣の方々には、感染症対策により一方通行路にて設置された除菌と等間隔に整列していただいている中、いったん中断していただき、神前にて座間神社の宮司による新年の祝詞奏上およびご祈祷のあと、氏子代表者より関係団体の代表者へ、更に座間市長や各議員へと順に玉串拝礼を行い式典が終わりました。



その後、神殿から広場に場所を移して、参加者全員で新年を迎えて皆様のご健勝を願いながら御酒の杯を傾けました。

なお、中断していた参拝者は更に拡大しましたが、厳かな祝典とあって、トラブルもなくスムーズにお参りしていただきました。

神社氏子委員によるお焚き上げを実施

相武台神社恒例の伝統行事である「どんど焼き」は、新型コロナ感染症の拡大もあって、今年も残念ながら中止となりましたが、1月15日(土)同神社氏子委員の手による「お焚き上げ」のみが執り行われました。

恒例行事が中止となり、訪れる人もまばらの中「松飾りやお札」など納められたテントからシートごと引き出し、氏子委員の手で細かく分解し資源ゴミと燃焼物に選別、そんな中ダルマを発見。中には片目のない物もいくつかあり経済の異変を感じました。

やがて焼却物を炉の中央に積み上げ、干支の氏子会委員の手で炉の四方に散酒の儀式を行ったあと火入れとなりましたが念のため消防車を待機、炎の勢はいつときで最後は消防団員の手で慎重に消火していただき、お焚き上げは無事終了いたしました。



地区社協主催の健康講座「落語」を開催しました

相武台地区社会福祉協議会「会長 加藤三郎」では 2月6日(日)相武台老人憩の家において、2年ぶりとなる65歳以上を対象とした健康講座(落語)を開催しましたが、予定していた「熟年ふれあい演芸大会」については今回も中止としました。



当地区社協では初めてとなる落語の開催とあって、舞台はテーブルを演台に、カメラ用脚をマイクスタンドにと、手作りの特設ステージを準備しました。

いよいよ演師が登場。本日の演目は『お見立て』で、世間話から始まり、前半は今どきの「オレオレ詐欺」をテーマに面白おかしくユーモアの中に警告



もありました。後半は、「吉原花魁^{よしわらおいらん}」のお題でお色け話となりましたが、巧みな手振りや語り、怒ったり・泣いたり・笑ったりの熱演のなか、お茶を溢すハプニングが発生、観客は「これも芸の内?」と勘違する場面もありました。そんな落ちの中、マスクを手で押さえつつお腹での笑いや喝采のうちに幕引きとなりました。